

平成30年度 岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

＜「体験の風をおこそう」推進月間事業＞

チアフルデー～吉備の森感謝でえ～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

親子で自然体験活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、他の家族との交流を深めたりすることをねらいとする。

子供の健やかな成長に体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めることを目的とする。

2. 主催

岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立吉備青少年自然の家

3. 事業の概要

(1) 期日

前夜祭：平成30年10月13日（土）～10月14日（日）1泊2日

本祭：平成30年10月14日（日）日帰り

(2) 参加者

① 募集対象

一般（幼児から大人まで） 1,500人

② 参加者

前夜祭16家族（57人） 本祭515人

(3) 講師等

日本ボーイスカウト岡山連盟	4人（うち3人は小学生）
岡山県青少年教育センター閑谷学校	3人
岡山県キャンプ協会	3人
岡山県シェアリングネイチャー協会	8人（うち7人は大学生）
岡山県立岡山盲学校	8人
絵本専門士	4人（うち3人は協力者）
小学校教諭・環境カウンセラー	1人
国立吉備青少年自然の家 施設ボランティア	23人

(4) 企画・運営のポイント

- ① 吉備の魅力をより多くの方に知ってもらうために、前夜祭を設けた。
- ② 昨年度とは違う種目の障がい者スポーツとして「フロアバレー」を体験できるようにした。
- ③ ステージ発表は当施設をご利用いただいている団体に出演を依頼した。
- ④ レストランでの昼食を三交代制にすることで、制限時間内にできるだけ多くの方に利用していただけるよう工夫した。
- ⑤ 申込みの事務軽減を図るため、インターネットによる申込みとした。

4. 活動の内容等

(1) 日程

10月13日(土) 前夜祭		10月14日(日) 本祭			
16:30	受付	6:15	起床・洗面・清掃・荷物移動		
17:00	オープニング・入室	7:30	点検		
17:30	夕食	8:00	朝食		
18:30	休憩・移動	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">前夜祭</div>	↓		
19:00	遊びリンピック				
20:00	入浴				
21:30	就寝準備				
22:00	就寝				
				9:00	チアフルデー
					①カッター活動
					②自然探検隊
					③ウォーキング
					④ウーリーのぼうけんひろば
					⑤カプラ
					⑥おもしろ自転車
					⑦障がい者スポーツ 「フロアバレー」
					⑧環境教育
					⑨楽しい絵本
			⑩木の実で工作		
			⑪スーパーボールロケット		
			⑫遊びリンピック		
			⑬鳥の巣箱作り		
			⑭閑谷学校ブース		
			⑮ステージ発表・大抽選会		
		15:30	解散		

※昼食・・・レストランでビュッフェ

三交代制 (①11:00~12:00、②12:00~13:00、③13:00~14:00)

(2) 活動の状況



【前夜祭:まとあてペタンク】



【前夜祭:スリッパとばし】



【受付】



【カッター】



【自然探検隊】



【カプラ】



【ぼっくりウーリーづくり】



【おもしろ自転車】



【フロアバレー】



【環境教育】



【楽しい絵本】



【クラフト体験】



【スーパーボールロケット】



【遊びリンピック】



【鳥の巣箱作り】



【まが玉作り】



【ステージ発表】



【大抽選会】

5. 成果・課題

(1) 成果

- ① 今年度、初めて設けた前夜祭は、親子ともに大変喜んでいただけた。特に、幼児から小学校中学年が多く、また保護者も参加していたので、幅広い年齢の人達が参加できる遊びリンピックは、とても盛り上がり、金銀銅メダルも大変好評であった。さらに、前夜祭は時間にゆとりをもたせることで、初めて吉備を訪れた参加者にも緊張することなく過ごしていただけた。
- ② 障がい者スポーツは、今年度、新たな競技を求めて、岡山県立岡山盲学校の先生方に協力していただいた。「フロアバレーボール」という新しい競技は、盲学校の先生方だけでなく、その競技をされている団体の方にも御協力いただけた。
- ③ 当施設の利用団体の中から、ステージ発表の依頼をし、発表していただくことで、その団体の情報発信になり、団体にも観客の皆さんにも喜んでいただけた。
- ④ レストランでの昼食を三交代制にしたことにより、レストランの混雑を防ぐことができた。また、ご利用の方もゆったりとすることができ、大変好評であった。
- ⑤ 多くのボランティアの参加があり、運営をスムーズに行うことができた。

(2) 今後の課題

- ① 今年度の前夜祭の競技は、あまり寒くなかったのでプレイホールで行えた。来年度、気候によっては、前夜祭の内容を変更する必要がある。また、吉備の魅力を感じていただけるような内容を考える必要がある。
- ② ステージ発表の候補団体には、利用団体以外にも吉備中央町内の団体も検討しても良い。来場者の中には、吉備中央町内の方も多くいらっしゃるのので、地域の団体が発表するとなると、興味をもたれるのではないかと考える。
- ③ ブースを多く出展することで、ボランティアに頼らざるを得ない状況があった。内容を精査して開催する必要がある。

担当：主任企画指導専門職 瀧田正宏